# NAPAC トレンド情報 2017 カスタマイズ&アップグレードアイテム





制作/2017年3月 監修/日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC)



〒 141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-14 最勝ビル 11F-5 **ロ** 03-5437-6881 Fax03-5437-6882 http://www.napac.jp



# 2017年の国内カスタムカーイベントやカスタマイズ専門誌を賑わす最新パーツを一挙紹介!

#### 「NAPAC トレンド情報」とは…

「NAPACトレンド情報 2017 ~カスタマイズ & アップグレードアイテム」は、国内主要スポーティングパーツ、アルミホイールメーカーで構成する業界団体「日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC)」の会員社自らが、自社の最新アイテムについて解説させて頂く資料集です。

今回ご紹介する最新アイテムは、今シーズンの カーカスタマイズ市場を賑わすであろう注目の "ニューフェース"ばかりです。

また情報提供会員社が捉えている、その製品の市場傾向についても情報提供致します。デザイン、カラー、仕様の流行や傾向等を感じ取って頂き、カーグッズ販売店各位の売り場作りや来店ユーザー接客の参考にして頂ければ幸いです。

※本資料は NAPAC 会員社に情報提供を募り、協力会員のアイテムのみ掲載しています。

※掲載情報は2017年3月時点のものです。その後仕様変更等が発生している場合があります。









### - Contents -

#### アイテム掲載ジャンルと会員社

01\_足回りパーツ

阿部商会、キャロッセ、KYB エンジニアリングアンドサービス、タナベ

02\_アルミホイール

エンケイ、オーゼットジャパン、共豊コーポレーション、ジャパン三陽、スーパースター、TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY、トピー実業、PIAA、ファブレスジャパン、ブリヂストンリテールジャパン、ホットスタッフコーポレーション、マルカサービス、横浜ゴム、レアマイスター、レイズ、ワーク

- 03\_ インテリア ブリッド
- 04\_ エアロパーツ トムス
- 05\_エンジンパーツ 東名パワード
- 06\_ クーリングパーツ エイチ・ピー・アイ
- 07\_ エキゾースト 藤壺技研工業
- 08\_駆動系パーツ 小倉クラッチ、辰巳屋興業
- 09\_ ブレーキパーツ ディクセル
- 10\_ ライティング コラント ヴァレンティ事業部、PIAA
- 11\_エレクトロニックパーツ トラスト







Maker: (株) 阿部商会

Model: **BILSTEIN B12** サスペンションキット

#### 製品解説

マツダ ND 型ロードスター用 ビルシュタイン B12 純正形状 ローダウンサスペンションキット(定価 140,000 円、税別)は、 30mm 程の適度なローダウンで スタイルアップを図りながら、純 正形状の利点を活かしたしなやか で快適な乗り心地のサスペンショ ンキットです。

特筆すべきは原点回帰を目指した ND 型ロードスターのコンセプトに沿う、軽快でひらひら感のあるハンドリングが堪能出来る点です。

#### 関連市場傾向

近年の新型車は乗り心地の上質感とコンフォート性を追及する傾向が強くなってきています。 ミニバン、セダンに加え、スポーツタイプの車のユーザーもサスペンションの乗り心地を気にする方が増えてきています。

純正形状タイプのサスペンションキットやショックアブソーバーは乗り心地性能に対してネジ式車高調より有利ですので、ユーザーの求める方向で車高調か純正形状の商品を選択する傾向にあります。《 阿部商会 談 》

トレンド情報 2017

足回りパーツ



Maker: (株) キャロッセ

Model: CUSCO SPORT シリーズ

#### 製品解説

本格的なスポーツ走行を行うユーザー向けに、ハイスペックな機能を搭載した車高調整式サスペンションキット「CUSCO SPORT シリーズ」が新登場!設定アイテムはスポーツラジアルタイヤで楽しく走れるスポーツS、Sタイヤを使用し、本気でタイムを出したい方むけのスポーツR/X。そして、競技専用モデル(ジムカーナやダート競技)のスポーツGまで完全ラインナップ。

ぜひクスコがモータースポーツで 培った技術をつぎ込んだ本格スポー ツモデルをご体感ください。3月1 日よりデリバリー開始です!

#### 関連市場傾向

サスペンションセットアップのトレンドとして は、ハイブリップタイヤに合わせ、ハイレートスプ リングを使用しながらも、しっかり路面に追従する ようセットアップします。

近年ではコーナーリング性能に加え、路面のうねりやキャップでの走破性やコントロール性またトラクション性能なども重要視されています。 《 キャロッセ 談 》 トレンド情報 2017

足回りパーツ



Maker: KYB エンジニアリングアンドサービス(株)

Model: **LOWFER SPORTS PLUS** 

#### 製品解説

走りのスタイルに合わせて簡単に調整可能! 14 段ダイヤル付「LOWFER SPORTS PLUS (ローファースポーツプラス)」登場!

ローファースポーツのリヤに 14 段ダイヤルを装着して「もう 少し」「もうちょっと」をプラス!

通勤や子供の送迎時の1~2人 乗車メインの方、家族ドライブや スポーツ走行メインの方など、こ のダイヤルでそれぞれの走りに合 わせたお好みの乗り心地に調整可 能になりました。

#### 関連市場傾向

足回りを変える = 車高調を入れる = 車高短というトレンドが長く続いていますが、最近のクルマは衝突軽減ブレーキに代表される各種安全デバイスの装備が増えており、車高を下げ過ぎるとそれらに弊害が起きる可能性があります。

今後は自動運転も普及してくるため、ますます車 高を下げられないクルマが増えそうです。車高はあ まり下げずに安全快適と走る楽しさを提案する時期 かと思います。

《 KYB エンジニアリングアンドサービス 談 》

トレンド情報 2017 足回りパーツ



Maker: (株) タナベ

Model: SUSTEC PRO
COMFORT-R40

#### 製品解説

至上の乗り心地を追求したスー パーコンフォートモデル。

スタイリッシュなローダウンフォルムと、ドライビングやライド感をスポイルしないフレキシブルなサスペンション機能を追求したCR40は、"街乗りでの不快なゴツゴツ感"を超微低速領域からでも減衰を発生させるノンプリロードバルブで大幅に軽減させています。

クルマの用途や走行ステージにあわせて減衰力調整機能を活用することで、走りのフィーリングはさらにあなた好みに。

#### 関連市場傾向

近年のドレスアップフリークの間ではスタイルを 重視しローダウン量の数値を優先する傾向ですが、 一般的なユーザーにおいては『カッコ良くローダウ ンしたいけど、乗り心地は悪くしたくない』という 中で通勤、レジャーなどのシーンで幅広く対応でき る製品が求められています。

車検対応や、性能、機能、耐久性などの情報を口コミサイトなどで収集し、自分に合った製品を見定めているようです。

《 タナベ 談 》

トレンド情報 2017 足回りパーツ



Maker: エンケイ (株)

Model: NTO3RR

#### 製品解説

実戦から生み出されたリアル・ スポーツ・ホイール "NTO3RR" 登場。

1998 年に独特なスポーク間を繋ぐブレースリングを採用し、ホイールの捻れや撓みを最大限に低減することを目的にリリースされたNT03。

その後も進化を続け今回で第四 弾となるモデルは、現代のトレンドであるコンケイブデザインを取り入れ、ホイールに求められる機能のさらなる進化とともに、迫力ある意匠を実現しました。

#### 関連市場傾向

最近のホイールのデザイン傾向は、リム外周部よりホイール中心部に向けて中下がりになる"コンケイブ"デザインはまだまだ人気です。

また、デザイン面の切削やスポークサイドの切削 を含めてエッジ感を強調するデザインも人気があり ます。

カラーはシルバーが主流ですが、ブラックやガン メタリックなど濃いカラーも人気があり、かつ艶感 のあるものからマット(艶消)も人気となっていま す。

《エンケイ談》



Maker:オーゼットジャパン(株)

Model: Rally Racing

#### 製品解説

WRC を席巻した伝説のホイー ルが 2017 年、再びストリート に蘇る – The Timeless Racing Icon is Reborn –

ランチアデルタ、トヨタセリカ、 スバルインプレッサなどの時代か ら今なおワークス WR カーにホ イール供給している唯一のメー カーであるイタリアのオーゼット は、ラリーホイールの代名詞でも あるラリーレーシングを新たに発 売致します。

#### 関連市場傾向

昨年以上にラグジュアリークラスの SUV が多く 発売され大口径モデルへの注目が高いように思いま す。

その反面、車重の重い車両が増えたことにより、 荷重の関係から装着してはいけないホイールも多く あるので売る側も買う側も注意が必要となっていま す。

その他では、老舗ホイールメーカーによるリバイ バルモデル、ネオクラシック系の発売などが最近の トレンドとなっています。 《 オーゼットジャパン 談 》



SHALLEN VFX

SHALLEN VMX

Maker: (株) 共豊コーポレーション

Model: SHALLEN VFX • VMX

#### 製品解説

始まりは 2002 年。SHALLEN (シャレン) はユーザーの意見や 要望をリサーチし、ユーザーと共 に成長してきたブランドです。

そして 2017 年、時代の流れにより、よりコアなユーザーに向けたマルチピースの新ライン「Vシリーズ」から VFX・VMX を同時リリースしました。リム部全周配列のピアスボルトはあえてダウンサイジングする事により強度と精度を重んじた強靭なスタイリングとなっています。もちろんユーザーからの要望により実現したモデルなのです。

#### 関連市場傾向

最近の純正ホイールは数年前に比べとても良くなっています。デザイン性やカラー、大口径化など。カーメーカーがよりクルマの販売数量を伸ばす、より魅力あるクルマに引き立てる策として足元の印象を良くする傾向にあります。

多くのアフターホイールはその純正を超える事を コンセプトにしていると思います。性能・カラー・ デザインなど。原点に戻りよりアフターホイールら しい志向性の強いホイールが多くなっていくと思わ れます。

《 共豊コーポレーション 談 》



Maker: (株) ジャパン三陽

Model: ワーウィック ハーベル

#### 製品解説

斬新なダイナミックツイストデザイン!最近増えてきているツイストデザインをよりダイナミックに作り上げました。目を引くデザインをコンセプトにこの斬新さが生まれました。

インパクトのあるデザインでありながら、軽自動車からコンパクト、ミニバン、SUV まであらゆるジャンルの車種にマッチするデザインとなっております。

オシャレに目立ちたい方に是非 お勧めです。

#### 関連市場傾向

ここ近年の純正アルミホイール分野は、デザイン もオシャレでカラーもアフターアルミホイールと区 別がつかないような物が装着されてくるようになり ました。

そのような中、我々アフターアルミ業界では、常にその上を行くデザイン、カラー、ワンポイントに工夫をし、進化していかなければなりません。今はアルミホイールを着ける時代から、"着け変える時代"になってきているため、当社では常に最先端を目指して開発に取り組んでいます。

《 ジャパン三陽 談 》



Maker: (株) スーパースター

Model: レオンハルト シュタイン

#### 製品解説

「レオンハルト」の最新モデル。 近年同ブランドが提唱するシンプ ルデザインに立体的なディスク断 面を設けダイナミックさを追求。 緩やかなコンケイブ形状は現実的 な装着サイズでもディスクがリム から突出しにくく設計し、ディス ク外周部を削り落とす"アンダー カット"を施し更に立体的なデザ インになり軽量化にも成功。

22 インチ専用モデル「ジーニス・シュタイン」も同時発表し国内外のハイエンドカーにも全方位対応となりました。

#### 関連市場傾向

現在マルチピースホイールのデザインは「シンプル」と「3D デザイン」の 2極化が更に加速すると思われます。これは純正ホイールのデザインがアフターパーツを意識したデザインやカラーが採用された事で、マルチピースホイールには付加価値以外に純正ホイールには無い上記 2 つのファクターを求め出しているのではないかと考えます。

また、レッドやゴールド等、同様純正ホイールに は少ないカラーもトレンドになりつつあります。 《 スーパースター 談 》



Maker: (株) TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY

Model: TWS Exlete 206S

#### 製品解説

流行に左右されず、10年後も 古さを感じさせないデザインコン セプトをもつユーロスポーティー ホイール TWS Exlete の 2017 年 モデルが 206S です。

3種類の DiskFace を設定していますので、車輛に適したコーディネートを楽しむことが可能です。また、TWSExlete として初めてグロスブラックカラーを設定し、グロス系カラーの到来を牽引するアイテムでもあります。

#### 関連市場傾向

アルミホイール市場は最近ではネオクラ系が流行出し、アウターリムを魅せるデザインも多数出てきていますが、装着可能であればコンケイブデザインもまだまだ支持を得ています。

派手すぎず落ち着いた雰囲気を醸し出す細身の6 スポークデザインの206Sは、その普遍性のデザインに3種類のDiskを組合せることにより、アウター リムを魅せたい!コンケイブデザインを履きたい! といったお客様のニーズに応えます。

《 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY 談 》



Maker: トピー実業 (株)

Model: ドルフレン・デルティオ

#### 製品解説

輝きを限りなく追い求めた、究極の次世代1ピースホイール。ストレートに光を放つミラーポリッシュのV型スポークと、よりワイドなドルフィンスリットを有するY型スポークは艶のあるネイビーカラーのサイド面により、更なる輝きを手に入れました。最大の弧を描きながら輝くリムリングと、その奥で光を放つビハインドリング。美しく高貴なる知っためのすべてのデザインをいま、あなたへ。

#### 関連市場傾向

ビッグセダンやミニバン、SUV系の車両にはより凝ったデザインが求められており、いかに立体感を演出するかが重要となります。

コンケーブ採用により、ディスク面の高低差を出し、 アンダーカットを取り入れることでミラーポリッ シュに奥行き感を与え、ドレスアップでの差別化を 図っています。

《トピー実業談》



Maker: PIAA (株)

Model: MOTORISMO TS-6

#### 製品解説

「PIAA MOTORISMO TS-6 (モトリズモ TS-6)」は、"モータースポーツ"という名のホイールです。モータースポーツブランド「PIAA」から、軽量スポーツでありながら手軽なドレスアップホイールが新登場しました。

応力分散性能に優れたツイン 6 スポークとライトウェイトクーリング製法により軽量化を実現。グロスブラックディスクに切削リムが精悍さを演出。14、15 インチにはレッド、ブルーのリムが設定され、アクセントカラーとして個性を主張致します。

#### 関連市場傾向

アルミホイールのトレンドとして、これが一番というような画一的な提案ではユーザーの多様化した嗜好を満足させることは難しく、各メーカーの得意分野やブランドイメージを商品化する事がポイントだと考えます。当社の場合はスポーツ指向商品で軽量化、シンプルデザイン、そして今回はリムをレッドやブルー仕上げとし、エアロやグリルなどに使われている差し色とのコーディネートも意識した仕様とし、ご提案致します。

《 PIAA 談 》



Maker: PIAA (株)

Model: ユーロスタイル S82

#### 製品解説

「PIAA ユーロスタイル S82」は、欧州で流行のツイスト(ひねり)デザインを採用。異なる太さ、間隔の8本ツインスポークは4ホール専用設計とし、ロングスポーク化を実現しました。

またアンダーカット製法という 高度な工法に加え、その部分にク リヤーブルー塗装をすることで、 さりげない存在感、ハイセンスな デザイン性を演出しています。

近年の複雑化するホイールデザインとは一線を画す、シンプルな洗練されたデザインです。

#### 関連市場傾向

近年、ホイールデザインはより複雑化の一途をた どる傾向にありますが、ユーザーの嗜好は多種多様 であることも事実です。ユーロシンプルデザインで ハイセンスなドレスアップを目指したいユーザー向 けの商品ラインナップを販売店様の品揃えの一つと してご提案致します。

その中にトレンドのツイストデザイン、アンダーカットといった仕様を加えることで、シンプルながら単調にならない、ワンランク上のドレスアップのご提案が可能と考えます。

《 PIAA 談 》



Maker: (株) ファブレスジャパン

Model: BARONE XR-6

#### 製品解説

洗練された美しいクラシカルな デザインと、現代の技術による高 い完成度を併せ持つ「BARONE XR-6(ヴァローネ X R 6)」は 2017年の NEW モデルです。

本物だけが持ちうる造形は自然 体でありながら堂々たる存在を主 張しています。

 $2 \, \mathbb{L} - \mathbb{R} / \mathbb{R} \times \mathbb{R} = \mathbb{R}$   $\mathbb{R} \times \mathbb{R} \times \mathbb$ 

#### 関連市場傾向

アルミホイールジャンルは自動車の多様化に伴い 様々なデザインのホイールが各メーカーより発売さ れております。

その中でも、カスタム年齢層の高齢化により、 70年後半に流行したネオクラシックデザインホイールが注目されており、2017年は大きなブームの幕開けとなりそうです。

《 ファブレスジャパン 談 》



Maker:ブリヂストンリテールジャパン(株)

Model: ECO FORME CRS 171

#### 製品解説

「ECO FORME CRS171」は、安全・安心性能をベースに省資源の追及や環境負荷軽減といった環境アルミホイールとしての基本性能を満たした上で、シンプルながらも細部にまでこだわり抜いた精巧なデザインスポークを実現しました。

細身なフィンタイプがフォルムを構築し、スポークサイド及びボルトホール部にまでアンダーカット技術加工を施すとで、軽快感を醸成しています。

#### 関連市場傾向

昨今、アルミホイール市場の中で「環境対応アル ミホイール」は一つのジャンルを築いています。

さまざまなエコカーに対応するサイズ展開を図っていること、形状や素材選定に気を配った無駄のない効率設計を施していること、そして環境負荷となる物質を削減していることが、市場認知を高めている背景にあります。

その裾野は輸入車ユーザーやハイクラスデザインを求めるユーザーにも広がりつつあります。 《 ブリヂストンリテールジャパン 談 》



Maker: (株) ホットスタッフコーポレーション

Model: シュティッヒ レグザス フォーブス

#### 製品解説

Stich(シュティッヒ)シリーズの定番であるメッシュデザインを、最新の流行を加味し「個性」と「インパクト」を表現。

高低差を使い奥行きのある立体 的なデザイン。トップメッシュは 直線的なラインで構成され、アン ダーメッシュは交差部でさらに深 みを増す形状としています。

トップ・アンダーの形状、コンケイブラインに変化を与えることにより、スパルタンな印象を与えています。

#### 関連市場傾向

近年のホイール市場では「軽量」と言うキーワードが、ホイールを選ぶ上での重要な要素となっています。

フローフォーミング製法の普及により鍛造商品に は及ばないものの、剛性に優れ、デザインにおいて も鋳造ならではの柔軟なデザインと、価格的な魅力 が市場で注目を集めています。

一方で、ファミリー層やライトカスタムを楽しむ ユーザーの動向としては、ハイブリッドや低燃費志 向の流れが強く現れていると思います。 《 ホットスタッフコーポレーション 談 》



Maker: マルカサービス (株)

Model: VERTEC ONE Longbeak (ヴァーテックワン ロングビーク)

製品解説

2×7の立体的なピークドスポークと、切削を施したアンダーカットでエレガントに仕上げ、メタッリク調である DISK カラーと相まって、光の拡散とカラーの陰影が交差した表情となっております。

また、2色設定の内、今回初採用したタンザナイトブルー色は、流行の"ネイビー色系"であり、ホイール業界の牽引役になり得るものと確信しております。

#### 関連市場傾向

アルミホイール市場は昨年あたりから、アンダー カット箇所を切削し、デザイン的仕様流用の傾向が 伺えます。

また、カラークリアー等による更なるアクセント 効果を狙う商品も多数存在してきています。車のボ ディーカラーも近年は多種化してきており、ユー ザー志向としては各ボディー色とのカラーマッチン グが、ホイール選びにおける重要な要素になってき ていると思われます。

《 マルカサービス 談 》



Maker: 横浜ゴム (株)

Model: ADVAN Racing GT

21 インチモデル

#### 製品解説

フラッグシップモデルである ADVAN Racing GTに21インチ を追加。

メインターゲット車種は SUV ではなく、ADVAN Racing のコンセプト通りスポーツカーであり、ポルシェや R35GTR といったスーパースポーツカーとなります。

20 インチではターゲット車種のブレーキの大きさから採用できなかったことを考慮し、21 インチでは軽量性に優れるリバース構造とし、これらの車種への採用を可能としました。

#### 関連市場傾向

R35GTR の純正 20 インチサイズをはじめとして、ポルシェのセンターロックを含む 20 インチ、中でもポルシェ 991GT3RS のリアにいたっては純正 21 インチなど、純正サイズのハイインチ化が進む中で、アフターパーツとしてのホイールの 21 インチ発売は必然の流れと言えます。

《 横浜ゴム 談 》



Maker: レアマイスター

Model: レーシングフォージド LRF-WS5

#### 製品解説

レアマイスター初の「鍛造製法」を採用した軽量・高剛性のドレスアップホイール。設計上、17インチで7.7キログラム、18インチで8キログラムと、サイズを感じさせない軽量ホイールと仕上げました。

機能性だけには留まらずシンプルかつ洗練されたデザインも追及、リムにはブランドロゴをマシニング加工し、プレミアム感も演出していますメルセデスベンツやアウディといった欧州車にも対応。

#### 関連市場傾向

アルミホイールは鍛造やフローフォーミングなどの軽量製法にマシニング加工やアンダーカットを用い細部の意匠にこだわった商品や、多様のカラー設定のオプションを設けることでユーザーがオリジナリティを出せる商品が人気の傾向です。

またリバイバルデザインが話題になる兆しがあります。そのため今後は流行を捉え、ユーザーのニーズに合った競争力のある、他の商品との違いが明確な商品展開が必要であると考えます。

《レアマイスター 談》



Maker: (株) レイズ

Model: VOLK RACING TEO37
DURA

#### 製品解説

ボルクレーシングシリーズの最高峰モデル「TE037 DURA」は、常用されるアルミ合金中でもっとも強い引張り強度を示す A7075素材を採用。

レイズオリジナルデザイン金型 鍛造工法で製造することで金属組 織の流れ(鍛流線)の寸断を限り なく抑え、素材の持つ性能を最大 限に引き出すことに成功。従来品 比較で同レベルの剛性性能を得な がら約 1000 グラムの軽量化を達 成しました。

#### 関連市場傾向

SUV、ハイブリッドスポーツなど新しいジャンルの車種が台頭しており、より趣向性が多様化してきています。

また、多彩な表面処理や 3D マシニングダイヤカットなど、より高度な技術が高付加価値ホイールには求められてきています。

《レイズ談》



Maker: (株) ワーク

Model: Equip 40

(エクイップ フォーティ)

#### 製品解説

ワーク設立 40 周年を記念し ワークの中で最も歴史あるフラッ グシップブランドに新アイテム として 40 周年の名前を冠する Equip 40 を発表しました。

Equip ファン、ビンテージホイールファンへ捧げる特別なホイールです。旧車のみならずヤングタイマーもターゲット車両に置き、細部に拘った仕様も可能にしました。

#### 関連市場傾向

ビンテージホイールまたは復刻モデルや伝説的ブランドホイールの装着は、現在のみならず、拘りの強いユーザーのカスタム志向に根付いています。

近年増加傾向にあると称される旧車カテゴリーを 含め、現在の車にあえて古風に映るホイールを装着 するカスタムニーズは、現在の技術を反映されるこ とで、様々に細分化されるカスタム志向に沿った仕 様が生まれています。

《ワーク談》



Maker: ブリッド (株)

Model: ストリームス・クルーズ

#### 製品解説

エルゴノミクス(人間工学)を 追求した新しいデザインのリク ライニングシート「STREAMS (ストリームス)」と「STREAMS CRUZ (ストリームス・クルー ズ)」。

シートの「面」で身体を支えることで、衝撃を分散し、ドライバーの疲れを軽減するこのシートは、腰痛対策としてもお勧めです。「ストリームス・クルーズ」は、別売のアームレストを装着可能なモデルです。また、素早く温まる快適なシートヒーター搭載モデルもラインナップしています。

#### 関連市場傾向

ドライバーの身体を支えるシートは、運転時の疲労を考える上で最も重要な要素のひとつです。リクライニングシートの市場では、多くのドライバーを悩ませている腰痛を軽減できるシートが必要とされています。

また、機能性と同時にファッション性も高い商品が注目されています。 《 ブリッド 談 》 トレンド情報 2017 インテリア



レクサスブランドのハイエンド スポーツセダンをさらにアグレッ

製品解説

シヴにする空カパーツ。

レーシングチームだからこそ実 現した最新レーシングエアロダイ ナミクスのフィードバックが、空 カデバイスとしての性能を実現す る本物のエアロパーツ。

Maker: (株) トムス

Model: レクサス GS-F エアロパーツ

#### 関連市場傾向

自動車メーカーの後押しもあり、高性能車のパフォーマンスをクローズドコースで楽しむユーザー が増加傾向にあると思います。

そのせいか、高性能車ユーザーほど、パーツの性能に拘るユーザーが多く、高価ではありますが高性能なパーツが人気を博しています。

《トムス談》

トレンド情報 2017

エアロパーツ



Maker: (株) 東名パワード

Model: TOMEI EJ20 ツイン

スクロール用タービンキット

#### 製品解説

今回発売する EJ20 用タービンキットは、純正ターボと同様に、エキマニを通過した排気ガスを独立したままタービンホイールまで取り入れます。完全なツインスクロール・ターボ構造なので、低回転域が犠牲になることはありません。

アルミ強化アクチュエーターを使用しているので高ブースト時も安定したパワーを発揮します。

#### 関連市場傾向

これまでのターボチューニングは、最高出力を上げたいという方が多かったのですが、最近のトレンドは、ノーマル+aの出力で扱いやすいタイプが好まれるようです。

ターボチューニングの対象となる車種やユーザー 層が、徐々に入れ代わっているように感じます。 《 東名パワード 談 》 トレンド情報 2017 エンジンパーツ



Maker: (株) エイチ・ピー・アイ

Model: HPI COOL VEST SERIES

#### 製品解説

ベスト本体は8ライン2系統の独立したチューブが合計16m張り巡らされ循環時の冷水滞留時間を最小限に抑える事により常にベスト全体に4℃前後の冷水を流すことができます。

また JAXA の研究に基づき、胸部・腹部・背中以外にも首筋から脇腹にかけて最適冷却ポイントにチューブがレイアウトされています。特殊な編込み製法で生地とチューブが別々で動くため、収縮性が良く常に体に密着する事で高い冷却効果が期待できます。

#### 関連市場傾向

ベスト本体への冷媒は、車に固定して使用する ボックスタイプとポータブルに持ち運びが出来るボ トルタイプの 2 種類がございます。

ボックスは医療用製品を特注加工し保冷剤を使用 する事で約7キロとなり軽量化に成功。

ボトルタイプは冷凍させたペットボトルを冷媒として使用し、溶けたらそのまま飲料として飲める一石二鳥な商品です。近年、熱中症対策が重要視される中、車のクーリングから人体のクーリングへ、是非お試し下さい。

《 エイチ・ピー・アイ 談 》

トレンド情報 2017 クーリングパーツ



Maker:藤壺技研工業(株)

Model: AUTHORIZE RM+c

オーソライズ アール・エム・シー

#### 製品解説

排気効率やパワー&トルクの向上を重視したレーシングスペックの AUTHORIZE RM をベースとし、テールエンドにカーボンを採用した「AUTHORIZE RM+c」バックショットを引き締めるカーボンエンド。さりげなく主張するメタル調のロゴがカスタム上級者向けのアイテムとして大好評です!

#### 関連市場傾向

近年のクルマは電子デバイスの発展が著しく、マフラーの排気効率だけで大幅な性能アップは見込めないのが現状です。

しかし、ノーマルでは味わえないサウンド、レスポンス、パフォーマンス、デザイン等、まだまだ引き出せる魅力が沢山あり、これからの課題となります。

法令順守はマストですが、スポーツマフラーに交換して感動してもらえるような商品開発に取り組んでいきます。

《 藤壺技研工業 談 》

トレンド情報 2017 エキゾースト



Maker: 小倉クラッチ (株)

Model: Vitz 用メタルシングル

クラッチ

#### 製品解説

トヨタ Vitz(NCP13/NCP91/NCP131)用メタルクラッチ(定価 106,000 円 税別)は、313Nm という高トルク対応ながら、メリハリのあるクラッチペダルフィーリングを実現した本格的なメタルシングルクラッチです。

クラッチカバーやプレッシャー プレートを新開発し、軽量フライ ホイールもセットにすることで、 ダイレクトなフィーリングであり ながら、ドライバーの意のままに 操ることができます。本格的なド ライビングを楽しむことのできる クラッチです。

#### 関連市場傾向

強化クラッチ市場では、「乗りやすいもの」という需要が多いですが、一部のサーキットユーザーからは、「より軽く」という要望もあります。

当社では、1 車種に対し、複数のクラッチをラインナップすることで、ユーザーの使用用途に合わせたラインナップ構成を行っています。

最近では、小排気量のコンパクトスポーツで本格的にサーキットを楽しむ人も増えているので、クラッチもそういったユーザーに向けて開発を行っています。

《 小倉クラッチ 談 》

トレンド情報 2017

駆動系パーツ



Maker: 辰巳屋興業 (株)

Model: RG パワークラッチ

#### 製品解説

扱いやすさとスポーツ性能を 兼ね備えた RG パワークラッチ 「スーパーディスク」シリーズ に新ラインナップとしてホンダ S660 用をリリース。

低温時から高温時まで安定した 摩擦性能を発揮し、ストリートか らサーキットまであらゆる使用環 境で使用可能。

#### 関連市場傾向

駆動系パーツのクラッチ市場は、多板式の強化クラッチと比較して手頃な価格で性能アップを図れるシングルタイプの強化クラッチが主流となっています。

スポーツ性能時の摩擦性能アップはもちろん、街乗りでの扱いや易さも重視するユーザー様は多いようです。

《辰巳屋興業談》

トレンド情報 2017

駆動系パーツ



Maker: (株) ディクセル

Model: ブレーキディスクローター

PD タイプ

#### 製品解説

ディクセル・ブレーキディスク ローター「PDタイプ」は、耐食 性(防錆)を高めたスタンダード タイプです。

ブレーキチューニングだけでな く、一般車検 / 補修用としても幅 広くご愛顧いただいています。

また、当社独自の製品保証「ディクセル摩耗保障」制度の対象商品 となります。

#### 関連市場傾向

近年の旧車ブームに伴い、旧車、ヴィンテージカーでのニーズが増えています。 他車種のブレーキ周り流用により、現代風にチューニングすることも盛んですが、 やはりノーマル然、 オリジナルを保ちたいというニーズも多いです。

弊社ではヴィンテージカーアンケートにより、一般ユーザーから広く情報を収集。アンケート結果を踏まえ、セリカST 205、アルシオーネ、サニトラ等のローターを追加しました。

《 ディクセル 談 》

トレンド情報 2017 ブレーキパーツ



Maker: (株) コラント ヴァレンティ事業部

Model: ジュエル LED テールランプ REVO

#### 製品解説

ヴァレンティオリジナルデザイン のフル LED テールランプ「REVO シ リーズ」は、以前のシリーズよりハ イパフォーマンスな位置付けとなり、 今後新車種もリリース予定です。

一部高級車種では、法改正により 日本国内でも保安基準適合となった 流れるウインカー「フローアクショ ンウインカー」を採用。また LED ラ イトバーによるスモールランプ点灯 が幻想的なリアビューを演出し、後 続車の目を釘付けにします。ウイン カーハイフラッシュ制御抵抗をテー ル本体に内蔵。Eマーク取得済み。保 安基準適合製品。

#### 関連市場傾向

テールランプジャンルは最近、流れるウインカーを採用したアイテムが注目を浴びています。法改正により、自動車メーカーの一部上級グレードに純正採用され、テールランプに多機能、デザイン、ファッション性を求める向きが強まっている現れの一つと思われます。

重要保安部品となるため、アフターメーカーのノウハウが必要不可欠です。またヘッドフォグランプジャンルは最近、LEDを採用したアイテムが注目を浴びています。一部の自動車、バイクで純正採用され、省エネ化を求める向きが強まっています。

《 コラント ヴァレンティ事業部 談 》

トレンド情報 2017

ライティング



Maker: PIAA (株)

Model: **LED ルームランプ** 

100 ルーメン

#### 製品解説

「PIAA LED ルームランプ 100 ルーメン」は、純正形状だから取り付け簡単!

圧倒的な明るさの 100 ルーメンは、 車室内を隅々まで照らす最高峰仕様 です。

T8 × 29 と T10 × 31 の両方に共用 出来る仕様で、特にラゲッジなどに 使用されている T829 × 29 タイプは、 ラゲッジルームが格段に明るく使い やすいと評判です。

#### 関連市場傾向

近年、ライティング製品は LED 化へ加速していますが、LED チップそのもののパテントを無視した粗悪製品も多く流通している中、しっかりとした製品選びが重要となっています。

ルームランプ用などの製品についても、より明るい製品が注目されており、当社では初期の明るさを 寿命末期まで維持するような高品質な製品をご提案 し、安心してユーザーがご使用頂ける製品をお届け 致します。

《 PIAA 談 》

トレンド情報 2017 ライティング



Maker: (株) トラスト

Model: GReddy sirius

unify

#### 製品解説

無機 EL を用いた自発光式透過型 メーターの sirius vision と、これま でのトラスト製追加メーターに共通 したコンセプト『シンプルで見易い』 を受け継いだ指針型の sirius meter を組み合わせた「sirius unify」は、 新しい発想と先進的な技術が生み出 した次世代型追加メーターです。

#### 関連市場傾向

各種メーターの最新傾向は、メーターパネルの夜間照明については、カラー切り替え式 LED が主流となっています。

また、別体のコントロールユニットを介して複数 のメーターをリンクする傾向にあります。 《 トラスト 談 》 トレンド情報 2017 エレクトロニックパーツ

#### オートアフターマーケット業界 推進活動

## カーカスタマイズライフをより楽しくする オートパーツ点検交換の日



※2015年9月9日に(一社)日本記念日協会に登録



「8月2日はオートパーツの日」の活動は、 標準装着パーツ以上の魅力を持つスポーティングパーツに交換することで、 カーライフの楽しさや日本のカーカスタマイズの文化を広め、 未来の子供たちに残していくためのものです。

2017年度のプレゼントキャンペーンは7月頃から、 また PR イベントは 8 月頃実施予定です。乞うご期待下さい。

記念日制定者 http://www.napac.jp 日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会(NAPAC)



協力 http://www.aaal.jp オートアフターマーケット活性化連合(AAAL)

